



英雄

の

条件

王都より
西に位置する
魔法士の森

ここでは
英雄の
一族に
よる
魔法
専門
の
訓練
が行
われる

フレイム！

うわっ

アルクス様！

すみません
加減を誤って
しまいました

いや
油断した
僕が悪い

にしても
エリスの
魔力の前では
防シ
御ル
魔法
同然
か

さすが偉大な魔法士
マゴ様の末裔だ

英雄の血筋は伊達じゃないな

貴方の足元にも及びません

…私など

そうだ！

森の奥地に魔力を増幅させる魔法の木の实があるって伝説なんだけど

エリスなら何か知ってるんじゃないか？

……アルクス様

あなたは勇者の血を引いていらつしやるんですよ

修行の身でありながらそんな物に頼るようでは魔王討伐など到底……

いや、別に楽しようってわけじゃないんだって



伝説は
あくまで伝説

日々鍛錬を
怠るような者には
かえって毒になる
代物です

焦る気持ちは
わかりますが

伸び悩むのは
成長の証ですよ



どうにも
このところ魔力が
伸び悩んでるんだ

君を
師事する
期間も
限られて
いることだし

何かできる
ことは
ないかと
思ってる



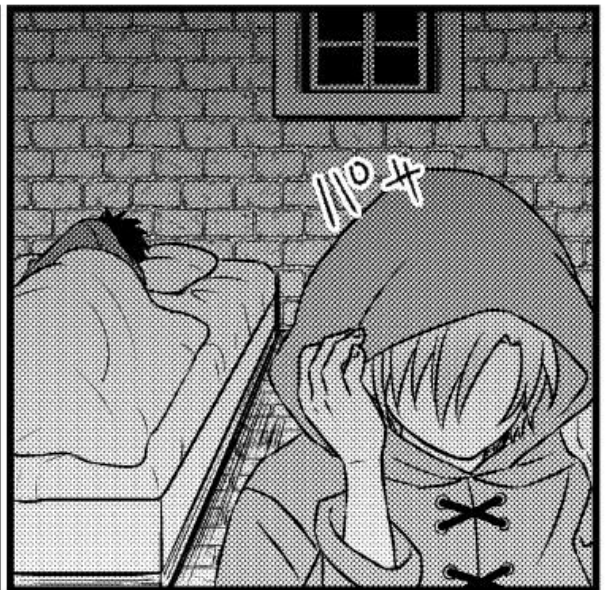
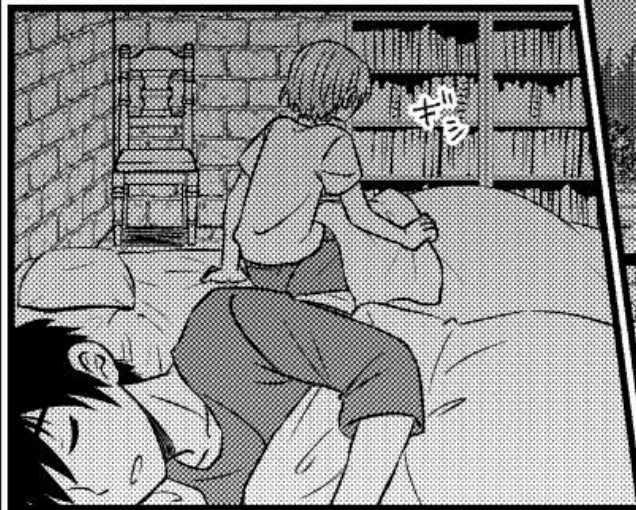
私の手で
きつと
育てて
みせますから

そんな物の為に
貴方が
危険を冒す
必要は
ありませんよ



……怠ってる
つもりは
ないんだけどね……

貴方は
“才能に
恵まれた”
希少な
逸材です



魔力の強さは
元来の資質を
超える
ことはない



故に

禁断の果実
と称される
その実は――



幾重にも
張り巡らされた
結界の先

食べれば
魔力が
増幅する

魔法の
木の実は
なるという



採取の際に

落ちこぼれメ

また
食われに
来たのか

何らかの
肉体的・精神的
苦痛が伴う



……黙れ！

消しズミに
されたいのか





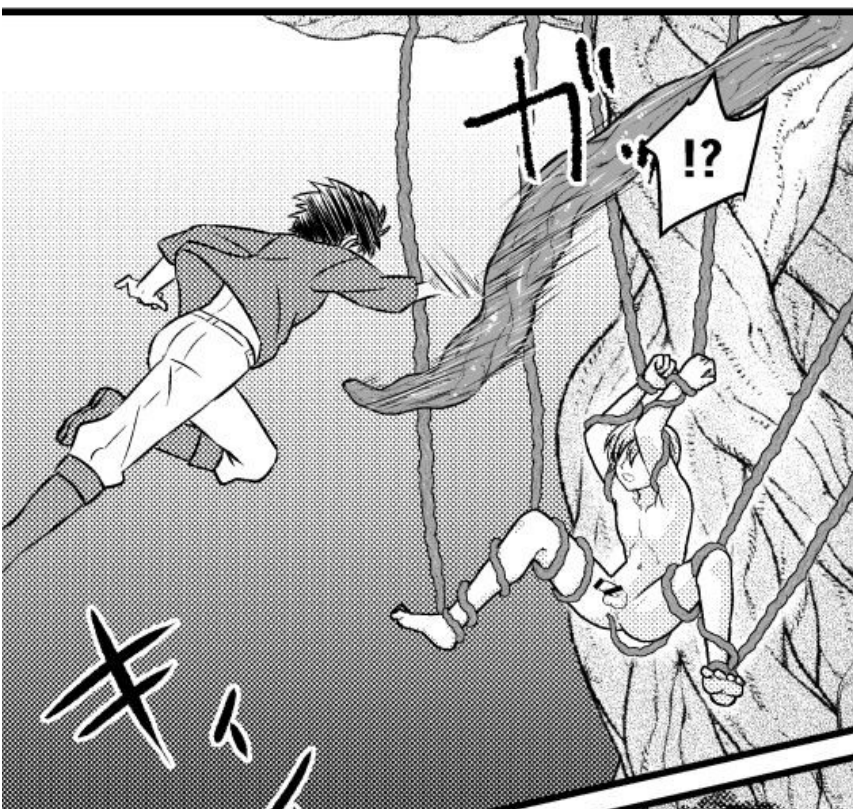
我的実が
余程美味い
らしいナ

でなければ

単なる
好色ダ

戯言に
付き合う
暇はない

さっさと
済ませろ…!!



ガッ!?



急いても
得にならんゾ

あっ

はっ

今夜は特別ダ



さて…
どう
料理して
やろうカ



カッ



ア……
アル……クス……
さま……!!



ザッ
チイ



誤解がある
ようだな

はっ

ああっ

コイツは
自ら我の
餌食になり
来てるのだゾ



エリスを離せ

化物め!



アルクス様

くっ

ビッ



黙って
そこで
見ていろ







この程度で
満足できる
身体力

あッ

くっ



許しを
乞うのは
得意だろウ

どうシタ

う...ッ

んっ



ッ フォー

ろくでもないゾ

ヒーン

強情を
張るト



あッ

ミギッ



やめっ...

ぬ...抜け...



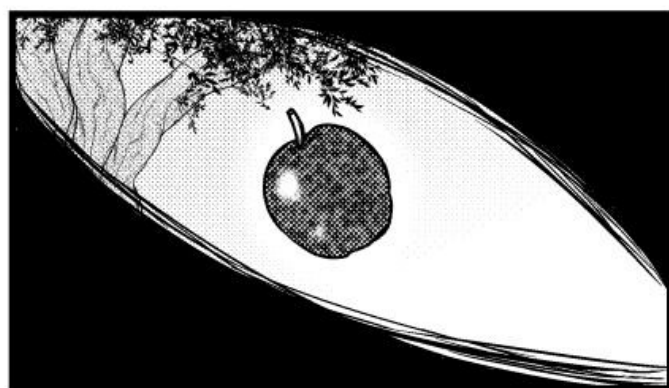
ッ!!



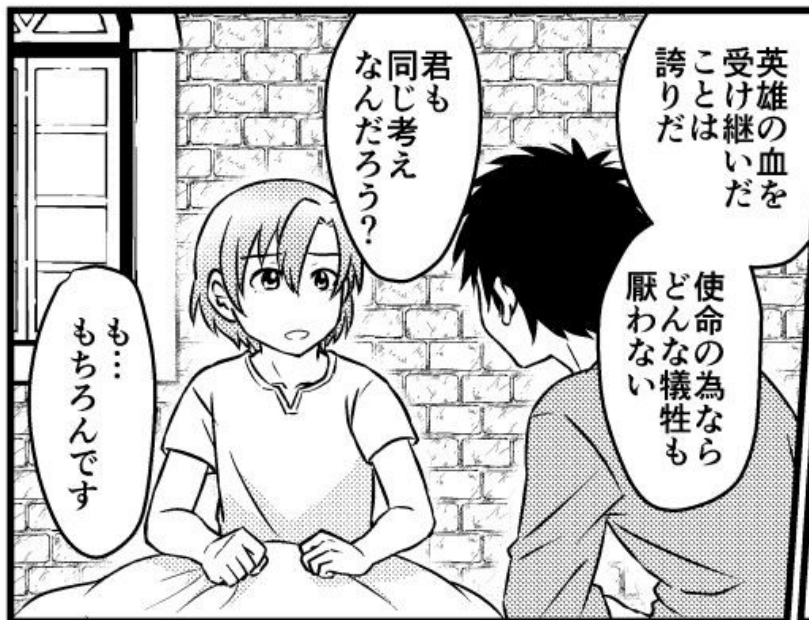








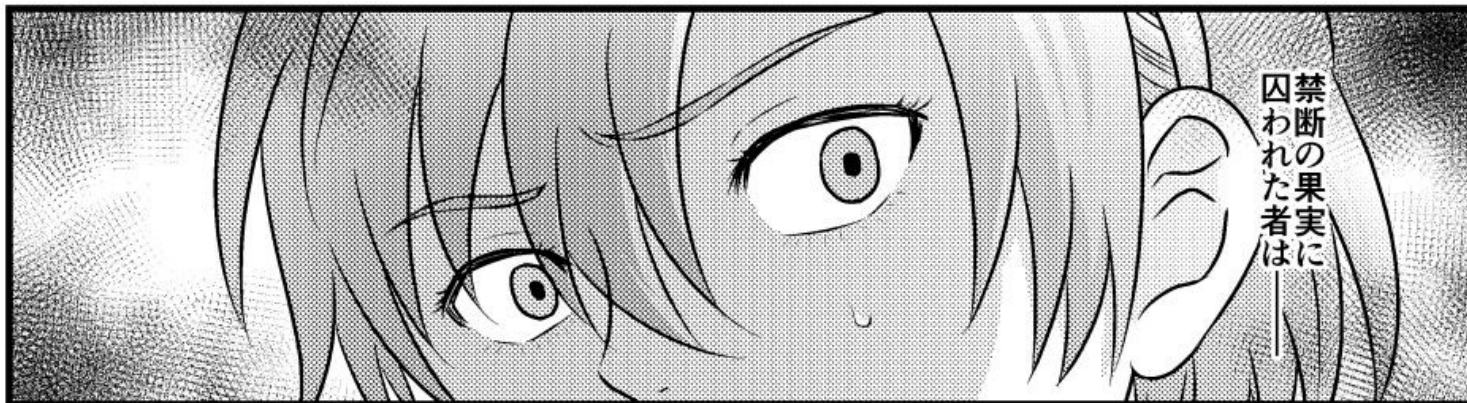






それを聞いて
安心したよ

ノキン



禁断の果実に
囚われた者は――

永遠に逃れられない

